

# ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成26年4月15日号

第17号

発行 社会福祉  
法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
〒314-0121 神栖市溝口1746番地1  
TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750  
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>  
※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます  
メールアドレス [mail@kamisushakyo.com](mailto:mail@kamisushakyo.com)



## 神栖市内で活動するボランティア あざみ会

2月25日(火)、デイサービスセンターオレンジノートの一室が『あざみ会』のステージに早変わりしました。歌い手が曲ごとに替わりながら、千昌夫さんの「星影のワルツ」や島倉千代子さんの「人生いろいろいる」など、昭和の名曲を中心に17曲が披露されました。プロの歌手にも負けないカラフルなドレスは、目でも楽しめるもの。歌の途中で利用者の席を回り、肩をポンポンと叩きながらリズムを取ったり、手を握ったりします。視線を合わせて寄り添い、一緒に歌う姿が印象的でした。

### 歌で元気を分かち合う

『あざみ会』は平成14年1月結成、歌うことが大好きな10名で現在活動しています。主な活動は高齢者施設等を訪問しての歌の披露で、訪問回数は100回を超えました。「病気を抱えているメンバーも多いのですが、仲間と歌うことで身も心も明るく、元気になっていきます。歌が持っている“パワー”を実感します。」と代表の小野寺さん(下の写真、前列左から2番目)が語ってくれました。

また、毎月1回訪問している市内の老人保健施設では鈴やタンバリンを使って、歌に合わせて首や手を動かす手遊びを行っています。「今月も来てくれたの？」と笑顔で迎えてくれる人、うまく言葉が話せなくても歌に合わせて口ずさんでくれる人、帰る頃になると寂しさで涙を流す人...、皆さんの姿を見ると「待っていてくれるみんなのために来月も頑張ろう！」とまた元気が湧いてくるそうです。



あざみ会では一緒に活動するメンバーを募集しています！みんなと楽しく昭和の歌を歌いませんか。  
毎週火曜日13時～16時の間、平泉コミュニティセンターで練習をしています。男性も大歓迎です！

【問合せ先】あざみ会 代表 小野寺いち子<スター音楽学院(ひまわり)認定講師> TEL:080-1013-5811

# 東日本大震災から3年 現在も続く災害ボランティア活動

～「もう大丈夫だよ！」と言われるその日が来るまで～

かわわ まさとく

東日本大震災以降、災害ボランティアとして40回以上東北の地へ足を運んでいる川和政徳さん。現在も月に1～2回、宮城県石巻市や東松島市を中心に活動しています。

いまだ震災の爪あとが癒えない、甚大な津波被害のあった被災地のみなさんは、住み慣れた土地を離れるか、避難所での生活を余儀なくされています。その人たちが安全に、安心して地元に戻ってきて欲しいという復興への願いを込めて、川和さんは災害ボランティア活動を続けています。



神栖市内での給水ボランティア活動。  
左側の男性が川和さんです。

## 災害ボランティア活動のきっかけ

川和さんは平成22年8月に定年退職しました。新たな活動の場所を探していたところ、平成23年3月11日に震災が発生しました。

神栖市内での災害ボランティア活動を始め、飲料水の給水や、がれき撤去などの活動をしました。市内での活動が落ち着いた頃、神栖市社協ホームページで宮城県、福島県といった被災地でボランティアを募集していることを知り、活動に参加します。災害復興バスを利用してこの活動が、現在まで続いています。

## 被災地でのボランティア活動

活動当初は、魚の腐敗した匂いや油の匂いなどの異臭が漂う中、津波被害のあった住居からの泥のかき出しや住宅のがれきの整理などが活動の中心でした。現在は、宮城県東松島市を中心に、野蒜海岸の漂着物の撤去を行う海岸清掃や、住民がいつ戻ってきても良いように、津波被害の大きかったJR仙石沿線で草むしりをしたり、芝桜や菜の花、チューリップなどを植えています。

海岸清掃では、波が荒れた次の日や一件綺麗に見える砂の中にも埋もれたガードレールや漁網、木材、ガラス片が出てきます。その一つ一つのゴミを丁寧に取り除き、誰もが安心して利用できる綺麗な海岸を目指し活動しています。



ボランティアのみなさんが植えた芝桜。  
東松島市東名地区で見事に花を咲かせました。

## 災害ボランティア活動中の“ほっこり”エピソード

地元の方が声をかけてくれたり、差し入れをしてくれることがあります。ある時、お年寄りからお漬け物の差し入れがありました。「ボランティアの人ががれきを撤去してくれた畑で採れた野菜を漬けたんだよ。」とその方。気持ちが暖かくなりました！

川和政徳さん。現在の災害ボランティア活動について語ってくれました。



川和さんは、石塚サン・トラベル(株)が主催する災害復興バスに乗り、土日を中心に被災地で活動しています。また石塚サン・トラベル(株)は、災害復興バスの運営の中で「愛いっぱい！夢いっぱい！花いっぱい！プロジェクト」として、被災地に復興の日を目指して花々を植えています。花の苗や種を購入費用を募っております。ご協力頂ける方、興味関心のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

<問合せ> 石塚サン・トラベル(株) TEL 0120-317-055 <http://www.ishituka.co.jp/>

## 柳川小の児童がお花をプレゼント

3月19日、卒業式を翌日に控えた柳川小学校の6年生3名が学校を代表して若ノ松区民会館を訪れ、『わくわくサロン松原』のみなさんにパンジーの花を贈りました。「僕たちがみんなで育てた花です。受け取ってください。」という児童のことばに、サロン代表の瀬尾さんは「素敵なお花をありがとう。あとは私たちが責任をもって水やりをしますから安心してください。」と笑顔で応えていました。早速、玄関脇にパンジーが飾られました。たくさんの人たちの目を楽しませてくれることでしょう。



柳川小学校はボランティア協力校として、社会福祉協議会の福祉活動基金を活用し、柳川保育園の園児との交流や、環境美化等に取り組んできました。1年生から6年生までの縦割り班をつくり年間を通じて様々な活動を行う上で、地域で何かできることはないかと考え、先生や児童が話し合い、花を育てて贈ることにしました。今回は校長先生が種から育てた苗を、児童が花壇やプランターに植えかえ、心をこめて手入れをし、見事な花を咲かせました。塩田教務主任(写真左)は、これを契機に地域の高齢者との交流を深めていきたいと語ってくれました。

## お知らせ



知手中央仲町地区にオープン!

『わくわくサロンあけぼの』参加者募集!

市内15カ所目のわくわくサロンとして、知手中央仲町地区で『わくわくサロンあけぼの』がスタートします!慣れ親しんだ地域で、お茶を飲みながらおしゃべりやゲーム、歌などを通じて仲間づくりやご近所との交流をします。お友達やご近所の方を誘って、ぜひご参加下さい。

日時:平成26年5月2日(金)10:00~14:00 毎月第1金曜日に開催します!

場所:知手中央仲町公民館(神栖市知手中央8-9-20) 参加費:500円/回(昼食・茶菓代)

対象者:知手中央仲町区にお住まいの高齢者、子育て中の親子

【申込先】わくわくサロンあけぼの 代表:松本 TEL 0299-96-4072

ボランティアセンター 担当:下田 TEL 0299-93-1029



わくわくサロンとは、家に閉じこもりがちになっている地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な公民館などに集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

新シリーズ

おじゃまします♥わくわくサロン

## わくわくサロンにここにこ 編

このシリーズでは、神栖市内に現在14カ所あるわくわくサロンを訪問し、その活動をお伝えします。

今回おじゃました「わくわくサロンにここにこ」は平成21年11月にスタートし、毎月1回(不定期)、日川地区の高齢者を対象に日川公民館で活動しています。2月13日(木)に開催された「にここにこ」には、舎利保育園の園児たちが訪れました。着物や戦隊ものなどの可愛い衣装を着た28人の年長さんたちが元気いっぱいの



ダンスと歌で、サロンの参加者たちを楽しませました。舎利保育園との世代間交流は今年で3年目。サロンのみなさんは、毎年園児に会えるのを楽しみにしています。園児たちのかわいさに、参加者たちは、思わず顔がほころび「抱きしめたくなくなっちゃうわ」と言いながら、大きな拍手を贈りました。

神栖市社協では、わくわくサロンづくりと運営のお手伝いをしています。

お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-1029(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで



地域で支え合う子育て支援活動

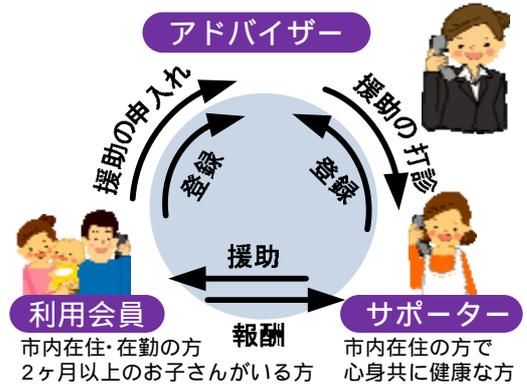
# 子育てサポーター養成研修を開催します！

“かみすファミリーサポートセンター”は、安心して子育てができる環境づくりをめざし、子育ての手助けをして欲しい人(利用会員)と子育てのお手伝いをしたい人(サポーター)が登録し、地域で支え合う子育て支援活動を行っています。養成研修を受講後は「子育てサポーター」として登録し活動することが出来ます。子育て支援にご協力いただける方の参加をお待ちしています。

研修プログラム 会場:神栖市保健・福祉会館 2階 研修室  
受講料:無料

ファミリーサポートセンターのしくみ

月日	内容	講師	
1 日目	6月10日 (火) 10:00~15:00	オリエンテーション 事務局 現代の子育てを取り巻く環境 神栖市の子育て支援の現状 子どもと関わる時の心構え 親との関わり方 元保育園看護師・ JACC認定心理 カウンセラー 子ども成長に添った関わり方 永瀬春美氏	
	2 日目	6月11日 (水) 10:00~15:00	子どもの事故と安全 よくある病気と事故の対処 神栖済生会病院 小児救急看護 認定看護師 緊急時のケガ・病気の対処(実技) 高松 薫氏
			サポート活動の流れと心構え 事務局



## 【サポート活動の主な内容】

保育園、幼稚園、学校等の帰宅後や休みの時のお子さんの預かりや送迎  
家族の通院、美容院、買い物等の外出時の預かり

## 【活動料金】

午前7時から午後7時 650円/時間  
午前6時から午前7時及び  
午後7時から午後10時 750円/時間

## 【申込先及び問合せ先】

神栖市社協神栖本所 0299-93-1029 (担当:高森、馬場)  
波崎支所 0479-48-0415 (担当:沢田、横田)



ファミリーサポートを利用したYちゃんのご両親、サポーターのKさんから活動についてそれぞれ感想を寄せていただきました。

### ★Yちゃんのパパ、ママより

仕事の都合で利用する事になり、不安はありましたが、女性・子どもセンターでみてもらうことにしました。子どもは保育園の先生と遊んだ感覚なのか、帰ってくるなり「先生にほめられた。」と大はしゃぎ。その日の出来事をとても楽しそうに話してくれました。家族以外の人にほめられたのがよほど嬉しかったようです。サポーターさんが書いてくれた活動記録も時間ごとの記入で、どんな感じで過ごしたのか目に浮かぶようでした。月2回数時間の利用でしたが非常に助かりました。



YちゃんとKサポーターです

### ★Kサポーターより

初めは泣いても、すぐに打ち解けて元気に遊び、帰る時には「ありがと。また遊ぼうね。」と笑顔でハイタッチしてくれる2歳7か月のYちゃん。一日の中でお子さんの成長を目の当たりにできる、サポーター冥利につける瞬間です。『大切な命をお預かりする』という責任感を常に持ちつつ、お子さんのかわいさにメロメロになりながら、楽しくサポーターをやらせていただいています。